

行事報告

Report of events

テクノフェスタ in 浜松 2025

テクノフェスタ実行委員会 杉山 岳弘、秋元 菜摘、金 鎮赫、大森 隆行

2025年11月8日(土)・9日(日)の2日間、毎年恒例の「テクノフェスタin浜松」が開催されました。2日目は寒雨が降った時間帯もありましたが、2日間で延べ9000名近い方々にご来場いただきました。情報学部主催の「高校生探究・情報コンテスト」や「情報学部公開講座」など、学生主体による「静大祭」も同時開催され、盛況のうちに2日間を終えることができました。

おもしろ実験では、「ドローンを飛ばしてみよう!」「ミシンで作ってみよう! ロボットに指示を出してみよう!」「情報科学のたのしい冒険2025」などが行われ、多くの来場者が最先端技術の体験を楽しみました。研究室展示では、「VRで貴重な楽器の演奏体験」「二輪情報学研究室&土木情報学研究所 研究大公開」「イの字」100年と、もっと昔:現在と過去(太古の昔)を最新技術でつなぐなどの研究室展示も行われ、情報学部の研究内容を広く紹介する機会となりました。

11月9日(日)には、学部主催で開催した「高校生探究・情報コンテスト」が開催されました。コンテストには高校29校か

ら144件の応募があり、そのうち57件のポスター発表を受け入れました。今年度からは、発表時間を区切った形式としてラウンド制を導入し、発表した高校生も他のポスターを見ることができるようになりました。参加した高校生同士だけでなく、テクノフェスタに来場した一般の方々とも活発な議論が行われ、探究活動の成果を広く共有する機会となりました。

今後も引き続き、情報学部の研究や教育の魅力を広く発信するとともに、地域の皆様と来場者の皆様との交流の機会を大切にしていきたいと考えています。来年のテクノフェスタにも、ぜひ多くの皆様にご来場いただけることを心よりお待ちしております。



Web版テルミンを体験中



VR版テルミンを体験中



「高校生探究・情報コンテスト」参加者の集合写真

情報学部ホームカミングデー 2025

同窓会ワーキンググループ 石川 翔吾、笹原 恵、白砂 大

2025年11月9日(日)に情報学部ホームカミングデーを開催しました。本年度も卒業生のキャリア紹介、工業会の活動紹介、学生の活動紹介、情報学部の近況紹介の話題提供と、お茶会形式の交流の場を提供しました。40名以上が参加し、3時間の

充実した内容を実施することができました。参加者からは、発表の内容が充実しており非常に有益であったこと、多様な参加者と交流できたことなど、ポジティブな意見を多くいただきました。学生も将来のキャリア形成のための刺激を受けたようです。貴重な話を提供して下さった皆さまに改めて感謝申し上げます。

今年2026年7月18日(土)には、ホテルクラウンパレスにおいて、情報学部30周年記念式典・祝賀パーティを開催する予定です。詳しくは情報学部ウェブページに掲載いたしますので、ご覧のうえ、ぜひご参加ください。また、進展著しい情報学領域に対応する先進的な学習・実践の拠点とするためのご寄付も募っております。ご協力を賜れますと幸いです。



参加者の集合写真



情報学部創立30周年
記念特設サイト

理論と実践が交差する「情報学」の新たなステージへ

補正予算計画WG長 竹内 勇剛

2025年度より、大学院修士課程情報学専攻は定員を60名から85名へと大幅に拡充しました。同時に「領域情報学コース」と「基盤情報学コース」の2コース制を導入し、教育体制を刷新しています。

なかでも「領域情報学コース」では、DX（デジタルトランスフォーメーション）を多様な産業や社会基盤に適用し、新たな価値創出やビジネス変革を牽引する「高度情報専門人材」の育成に注力しています。その一環として、現場の最前線でニーズや課題を熟知する現役の実務家を特任教員（一部客員を含む）として積極的に任用しています。

2026年度は計8名の実務家教員を迎え、科目『DX実践論』を中心に、学問としての情報学が実社会へいかに応用されているかを現場目線でダイレクトに伝える教育を展開して

います。このように新しい情報学専攻では、従来の情報学の基盤分野に加え、理論と実践が交差する学びを通じて、未来を切り拓く高度な専門性の養成を目指します。



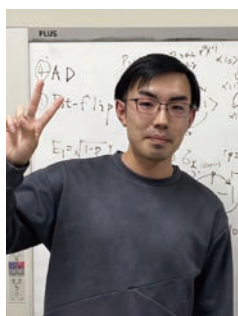
3月25日、2025年度に実施した『DX実践論』の授業を振り返り、2026年度の活動計画について話し合う懇談会が開催されました。

2026年度後期『DX 実践論』実務家教員

教 員	所属・経歴	授 業
阪口 瀬里奈	(公財) 静岡県産業振興財団 ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー (一財) 静岡経済研究所 特任研究員	静岡県内における企業DXの現状～主に中小企業の事例～(第2回) 企業内DX人材と社内体制の在り方(第3回)
大友 翔一	株式会社 GEOJACKASS 代表取締役社長	Tableauを用いたe-Statの利用実践(第4回) QGISを用いた不動産データの利用実践(第5回)
佐々木 雄一	Spiral.AI(株) 代表取締役代表取締役 兼 立教大学大学院人工知能科学研究科 アドバイザリーボード	大規模言語モデルを使った対話AI開発(第6回～第7回)
坂本 静生	日本電気株式会社 主席サイエンティスト	機械学習とその安全安心な活用、特に生体認証について(第8回) 国際標準開発とその活用、特に旅券と生体認証について(第9回)
梶 大介	株式会社デンソー AI 研究部数理ソリューション研究室 理論研究プロジェクトリーダー(担当次長) 兼 データサイエンス統括室人材活用・共創課	AIガバナンス・アライメント・機械論的解釈可能性(第10回) ニューラルネットワークの振る舞いと特異学習理論(第11回)
小山田 理佳	アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 サービススペシャリスト統括本部 アプリケーション開発技術本部 部長	企業・公共のDX化を主導する エンタープライズアーキテクト実践(第12回)
田崎 丈晴	高等学校等教員、東京都教育行政、教育管理職、 文部科学省教科調査官(情報)等を経て2026年1月より現職	学習指導要領改訂等教育施策の動向からみる 情報教育推進の展望(第13回)
佐藤 大輔	ソニーグループ株式会社 Senior Manager	クリエイティブDXの展望～ソニーグループの事例～(第14回) クリエイティブDXデザイン実践～ソニーグループの事例～(第15回)

未知への挑戦

情報科学科 小林 大翔



大学生活で1番大きな影響を受けたことは量子力学を学んだことです。3年次の研究室配属時から量子力学の勉強を始めました。基礎的な知識の勉強から始め、量子アニーリングや最適化アルゴリズムの研究に取り組むために様々な先行研究などを調べていきました。卒業研究では実際にプログラムで実装し、データを収集していく中で、ど

のようにすれば改善するか試行錯誤しました。実際に手を動かすことで量子アニーリングや最適化アルゴリズムの有用性を体感することができ、単純な知識以上のものを得ることができました。また、ほかの研究を見たときに、自分が研究で得た知識を活用できるかもしれないと思うことがあり、学問のつながりを感じることができました。新しい学問の勉強は難しい部分も多々ありましたが、自分の知識が増え、わかることが増えていく面白さを改めて感じるすることができました。卒業後も積極的に新しいことに挑戦していきたいです。

サークル活動を通して広がった人間関係

行動情報学科 向井 隼磨



しめるようになりました。

私の学生生活の思い出は、サークル活動を通じて多くの人と関わった日々です。以前の私は、他人、特に年上の方と接することに苦手意識があり、自分から距離を置いてしまうことが多々ありました。しかし、活動が続ける中で少しずつ自然に振る舞えるようになり、いつの間にかその交流を楽しめるようになりました。

また、性格面での変化も大きなものでした。以前は自分から行動を起こすことがほとんどなかった私が、今では友人や後輩を遊びに誘い、出かける計画を立てるまでになったのです。

人付き合いが得意ではなかった私にとって、この変化は、何よりも嬉しく、これからの大きな財産となりました。サークルで得た経験と、それによってもたらされた変化は、私にとってかけがえのないものです。この変化を糧に、これからの社会生活も前向きに歩んでいくことができると思います。

仲間との巡り会い

情報社会学科 南谷 妃花

私の大学生活を語るうえで欠かせないのは、仲間との巡り会いです。所属していたよさこいサークル「浜松学生連鰻陀羅」では、インカレならでは多くの仲間と出会いました。お祭りで踊るだけでなく、休みの日もイベントを計画し、仲間との時間を大切に過ごしました。また、演舞を一から創り上げる中で、楽曲や構成を何度も話し合い、試行錯誤を重ねました。だからこそ仲間と過ごす時間は自然と長くなり、次第に家族のような存在になっていきました。決して簡単な道のりではありませんでしたが、ステージでお客さんの笑顔と拍手をもらえた感動を分かち合えたのは、共に努力してきた仲間がいたからだと思います。歴代の先輩方から受け継がれてきた想いや、演舞を通して人を笑顔にする喜びから、多くの学びを得ることができました。頼りになる先輩や後輩にも囲まれ、仲間と本気で駆け抜けた日々は、私にとってかけがえのない青春であり、一生の宝物です。



周囲との協調が道を拓いた六年間

総合科学技術研究科情報学専攻 宮田 陵司



静岡大学での6年間は、周囲との協調の大切さを実感する日々でした。研究室配属後、私の代から提案して参加し始めた「新入生歓迎駅伝大会」は、今でも鮮明に心に残っています。お揃いのTシャツを作成し、先生や仲間と共に講義後の練習を重ね、運動経験を問わず全員で完走した経験は、私にとってかけがえのない思い出となりました。

修士課程では、情報学部海外インターンシッププログラムに参加し、スウェーデンのリンネ大学に派遣していただきました。未経験だった認知機能テスト開発に挑みましたが、現地の教授や学生と密に協力することで実装に成功しました。この経

験は、修士研究における認知機能テストのオンライン化にも直結する貴重な技術的基盤となりました。

未知の領域でも周囲と手を取り合うことで、自身の実力を越えた力が発揮できる。この学びと、これまで支えてくださった方々への感謝を胸に、修了後も邁進していきたいです。



情報学部キャリア支援室 椿 志保里

2025年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持しています。2026年3月19日現在、表のように学部では3学科平均で97.9%、研

究科では100%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内 定 者 数	大学院進学者数	内 定 率	進 学 率
情報学部	情報科学科	98	41	40	57	97.6%	58.5%
	情報社会学科	74	70	69	3	98.6%	4.1%
	行動情報学科	60	29	28	30	96.6%	50.0%
	計	232	140	137	90	97.9%	38.8%
総合科学技術研究科情報学専攻		84	77	77	6	100%	7.1%

2023～2025 年度学部・研究科卒業生の主な就職先

情報科学科	情報社会学科	行動情報学科	総合科学技術研究科情報学専攻
アビームシステムズ	アビームシステムズ	インテック	アマゾンウェルネスジャパン
NTT データ東海	NTT データ北海道	SCSK	NTTデータ先端技術
鈴与システムテクノロジー	ジェイアル東海情報システム	NECソリューションイノベータ	NTTデータ東海
ソフトバンク	中電シーティーアイ	ジェイアル東海情報システム	NTTドコモ
トヨタシステムズ	TISソリューションリンク	ソフトバンク	KDDI
日立システムズ	東邦ガス情報システム	トヨタシステムズ	ソフトバンク
メルカリ	トヨタシステムズ	LINEヤフー	トヨタシステムズ
楽天グループ	豊通シスコム	リクルートホールディングス	LINEヤフー
スズキ	メイテツコム	アサヒグループジャパン	スズキ
豊田自動織機	ヤマハモーターソリューション	スズキ	デンソー
パナソニックオートモーティブシステムズ	スズキ	日本電気	トヨタ自動車
三菱自動車工業	ニトリ	パナソニック	トヨタ紡織
ヤマハ発動機	遠州鉄道	浜松ホトニクス	日本電気
ローランドディー・ジー	TOKAI ホールディングス	富士通	日立製作所
アクセンチュア	静岡新聞社・静岡放送	中部電力	富士通
マイナビ	中日新聞社	電通総研	三菱電機
ヤマハコネクテッドサービス	報知新聞社	BREXIA Technology	アクセンチュア
静岡銀行	静岡銀行	デジタル・アドバイジング・コンサルティング	キャップジェミニ
豊橋市役所	東京海上日動火災保険	静岡銀行	サイバーエージェント
浜松市役所	静岡県庁	東京海上日動火災保険	三井住友カード
山梨県庁	浜松市役所	総務省	菊川市役所
山善	青山商事	クボタ	アスクル

ソフトウェア・通信、メーカー、サービス・インフラ、マスコミ、金融、官公庁など幅広い分野に就職しています。それぞれの学科のカリキュラムで育んだ知識や経験を活かし、就職活動での強みとしています。

情報学部では、年2回の進路ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。コロナ禍を経て、オンラインで採用活動を行う企業が多い状況が続いております。学生が活動を行う際に活用しやすいように、なるべくオンラインで情報を閲覧できるようにしております。また、採用関連の企業情報や、卒業生の就職活動体験情報を、就職資料室(i-job)で提供しています。



就職資料室(i-job)の様子

学生の表彰

学長表彰

成績優秀者

遠藤 木里

業績優秀者

中野 暁登

岩永 泰尚

塚越 駿大

ITソリューション室トボロジカルジュース

it-sawayaka

学部長表彰

成績優秀者

鈴木 菜月

業績優秀者

浜松学生連鰻陀羅

(情報学部所属学生17名参加)

専攻長表彰

成績優秀者

鈴木 星

業績優秀者

夏目 柊

浜松工業会

学習奨励賞

成績優秀者

小出 智大

開沼 美晴

今井 莉子

松下 夕華

溝上 茜

2026 年度 行事予定表 (3月末時点)

2026年

4月4日 入学式
(静岡グランシップ)

4月6日 ガイダンス
(～ 4月10日)
※奨学金説明会まで
含んだ日程

4月13日 前期授業開始

5月26日 全学一斉地震防災訓練

7月27日 前期試験期間
(～ 7月31日)

7月30日 TOEIC試験

8月上旬 夏季オープンキャンパス

9月16日 集中講義(～ 9月30日)

10月1日 後期授業開始

11月7日 静大祭・テクノフェスタ
(浜松)(～ 8日)

11月7日 保護者懇談会・個別面談
(予定)

12月22日 集中講義(～ 12月25日)

12月26日 冬季休業(～ 1月3日)

2027年

1月4日 授業再開

1月29日 後期試験期間
(～ 2月4日)

3月25日 学位記授与式(浜松)